

2019年2月14日



スターティアホールディングス株式会社
(東証一部 3393)

2019年3月期 第3四半期 決算説明資料

本資料に掲載されている業績見通し等に関する情報は、資料作成時点において合理的に入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は様々な要素によってこれらの業績見通しと大きく異なる可能性があることをご了承ください。

目次

2019年3月期第3四半期	連結決算総括	… P2
2019年3月期第3四半期	セグメント別業績	… P7
2019年3月期見通し		… P15
(参考資料・事業紹介)		… P18

2019年3月期第3四半期 連結決算総括

売 上 高 8,624百万円（前期比+532百万円）

営業利益 378百万円 （前期比+97百万円）

業 績 の ポ イ ン ト

- 増収増益。第3四半期累計における売上高は過去最高を更新。営業利益は前年同期比34.7%増。
- 増収要因として、ネットワーク機器関連の販売が伸長したほか、各ストック型サービスが堅調に推移。
- 増益要因として、中途採用の採用人数が期首計画を下回り人材関連費用が減少した他、広告宣伝費用のコスト削減により販売管理費が抑えられた。

第3四半期実績 累計期間(損益推移表)

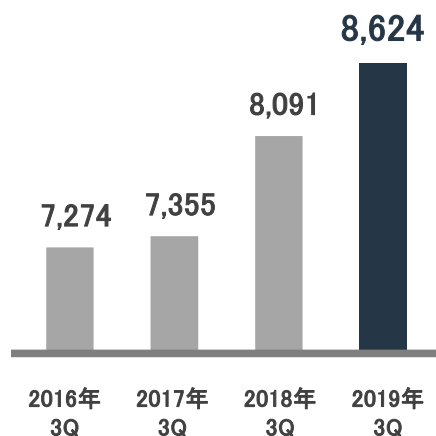
第3四半期累計において過去最高の売上高を達成

(単位:百万円)

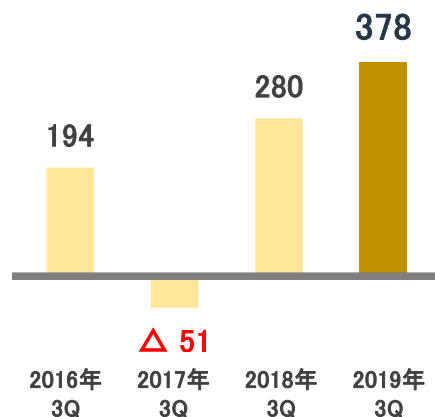
	2016年3月期 3Q	2017年3月期 3Q	2018年3月期 3Q	2019年3月期 3Q	前期比
売上高	7,274	7,355	8,091	8,624	+533 (6.6%増)
営業利益	194	△51	280	378	+98 (34.7%増)
経常利益	236	△17	293	415	+122 (41.6%増)
親会社株主に帰属する四半期純利益	51	106	482	264	△218 (45.1%減)

(単位:百万円)

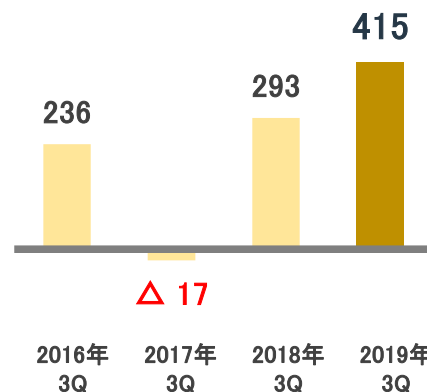
売上高推移



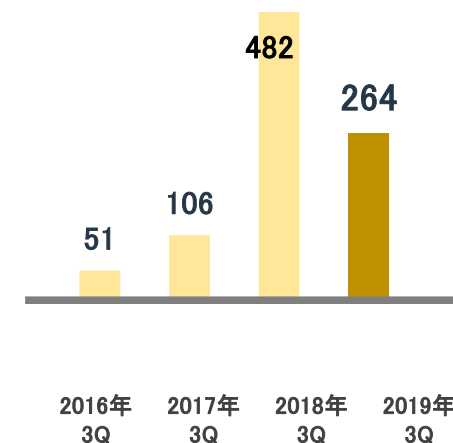
営業利益推移



経常利益推移



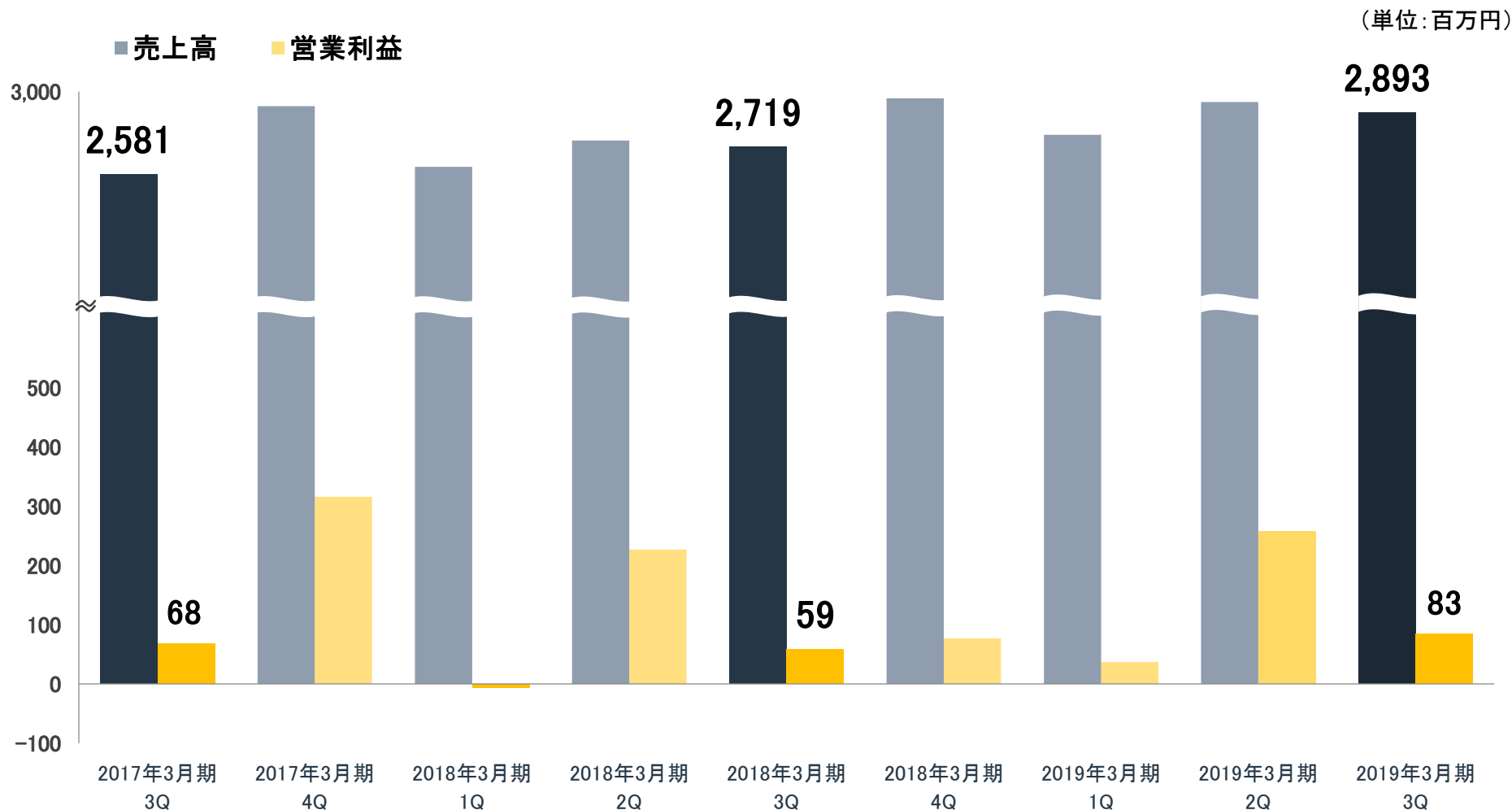
親会社株主に帰属する
四半期純利益推移



売上高・営業利益 四半期(会計期間)推移

第3四半期の売上高は2,893百万円、営業利益は83百万円。

2018年3月期第3四半期と比較し、174百万円の増収、24百万円の増益。

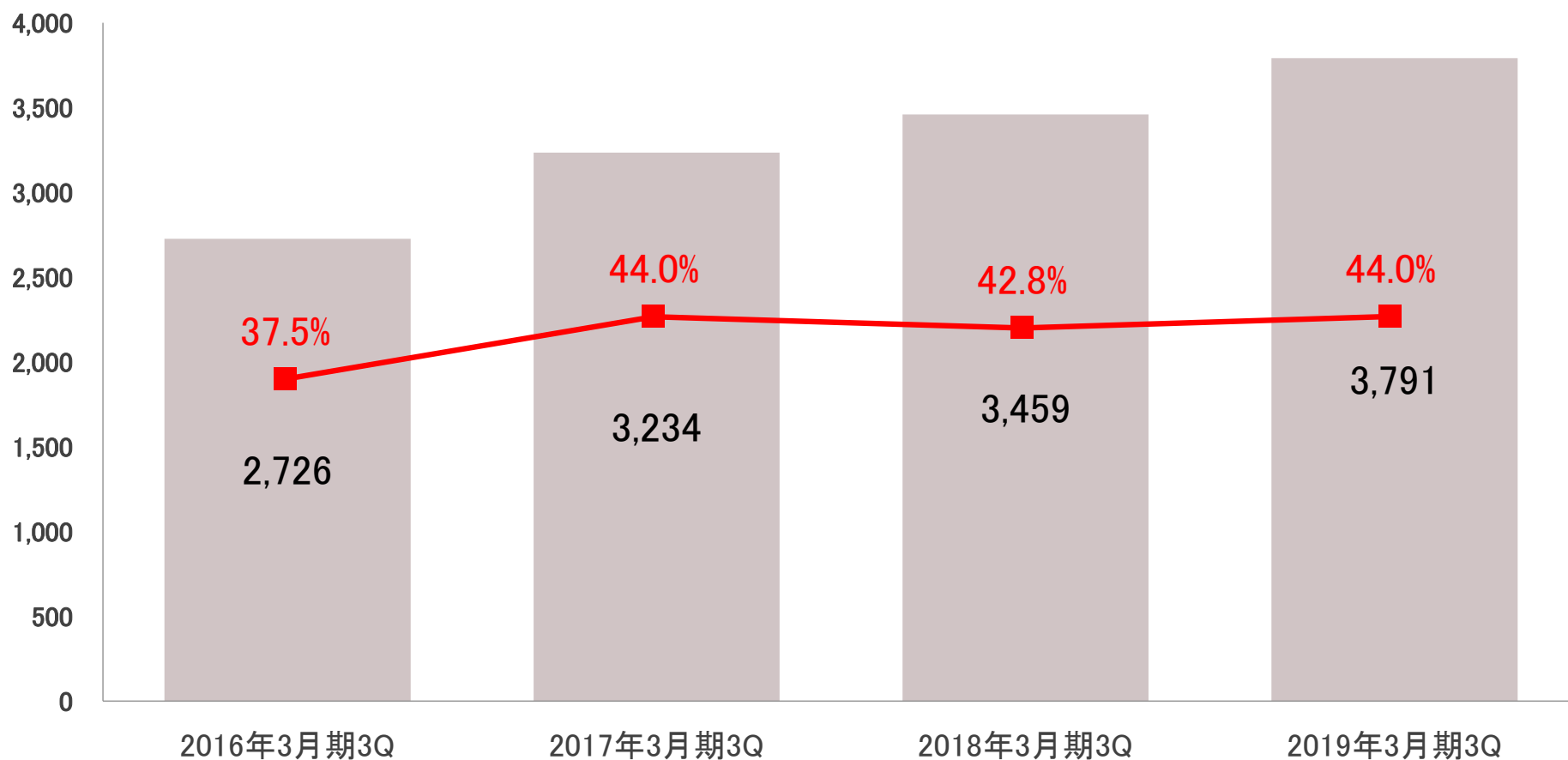


ストック売上 第3四半期累計期間

ストック収益の積み上げは順調。ストック売上の比率は40%を超えるまでに成長。

■ ストック売上

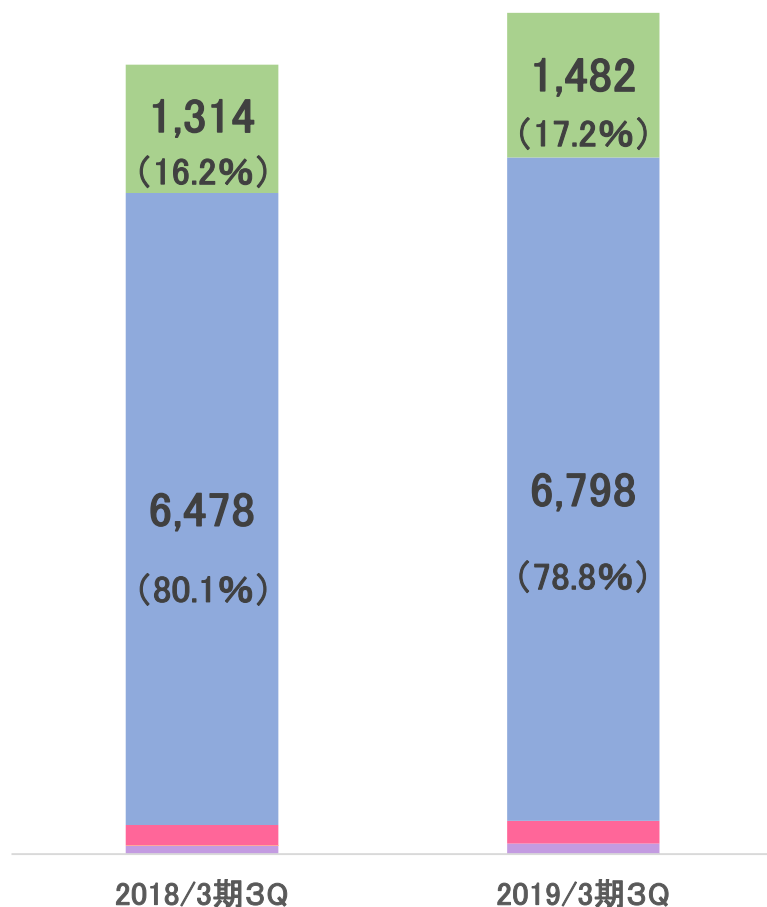
(単位: 百万円)



2019年3月期第3四半期 セグメント別業績

セグメント別売上高 累計期間（前年同期比較）

（単位：百万円）＊（）内は構成比



デジタルマーケティング（前年同期比＋12.8％）

ARサービスやMAツール「BowNow」をはじめとするWEBサービスの拡販に加え、「CMS BlueMonkey」の月額プランのプランアップ需要の高まりによりストック型サービスによる売上が積み上がり、増収に寄与いたしました。

ITインフラ（前年同期比＋4.9％）

特にUTM、ネットワーク機器関連が伸長いたしました。またカウンターサービスや光回線サービスによるストック収益の積み上げに加え、2018年1月より開始したビジ助などの新サービスのストック収益により、増収となりました。

ビジネスアプリケーション（前年同期比＋11.5％）

「セキュアSAMBA」の販売およびRPAソリューションにより、増収となりました。

CVC事業

投資の実行はありませんでした。

海外関連事業（前年同期比＋22.2％）

「Global Gateway」の販売が堅調に推移し、増収となりました。

セグメント別利益 累計期間（前年同期比較）

（単位：百万円）

	2018年3月期 3Q	2019年3月期 3Q	増減率	
デジタルマーケティング 関連事業	87	92	106%	ストック商材からの売上高が堅調に積み上がっていることなどにより、前年同期増益となりました。
ITインフラ関連事業	293	213	72%	営業活動の増強を目的とした求人費、人件費の増加、およびホールディングス化に伴う経営指導料の見直しにより、減益となりました。
ビジネスアプリケーション 関連事業	△27	△84	－	人件費および広告宣伝費の増加、およびホールディングス化に伴う経営指導料の見直しにより、減益となりました。
CVC関連事業	△18	△3	－	投資の実行はありませんでした。
海外関連事業	13	△38	－	海外関連事業を推進する上海スターティアにおいて、販売管理費は昨年と同水準となりましたが、売上原価の向上により、減益となりました。
その他	－	△4	－	－

（注）別途、セグメント利益又はセグメント損失（△）の調整額がございます。調整額には、報告セグメントに含まれない全社損益、セグメント間取引消去額等が含まれております。

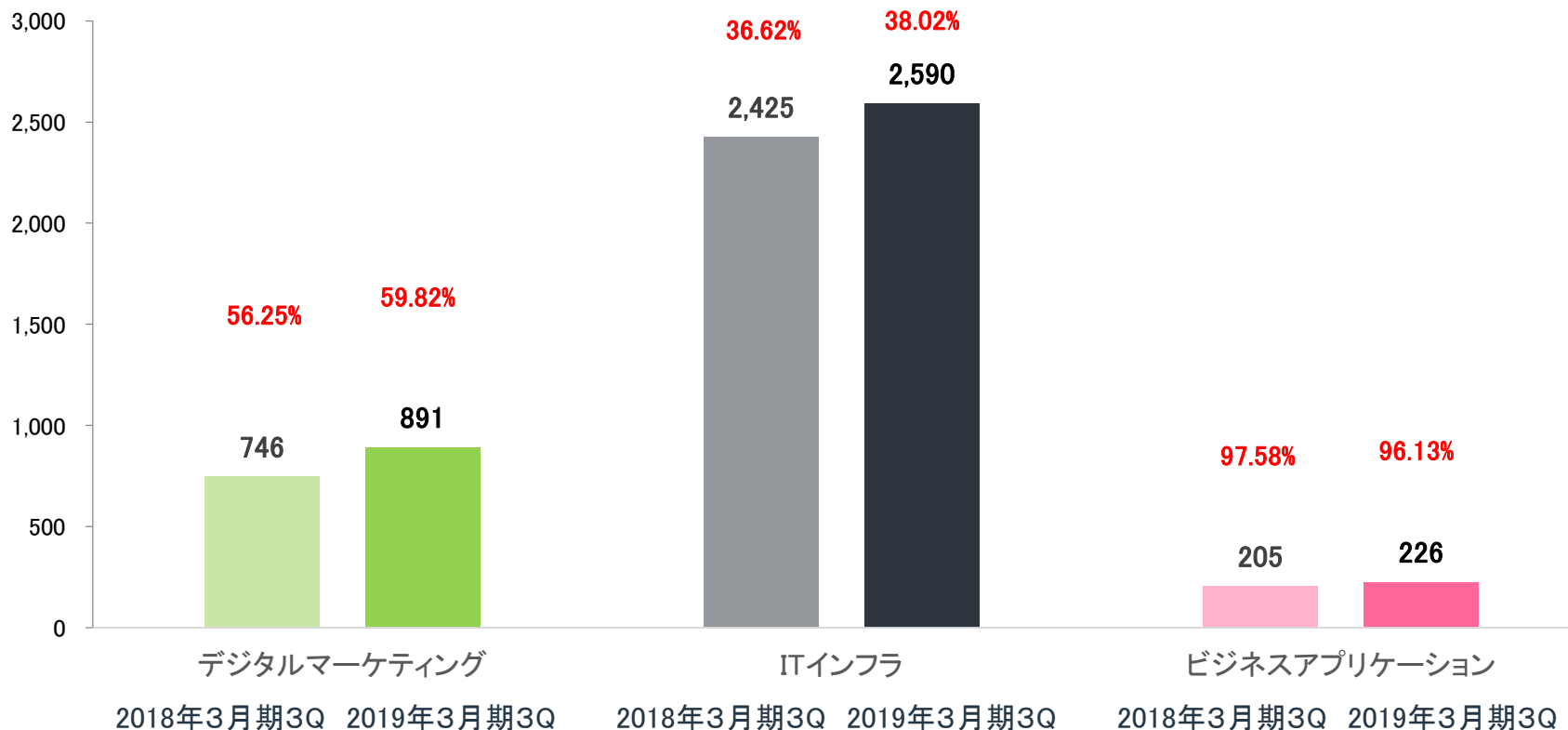
セグメント別 ストック売上高比率推移 累計期間（前年同期比較）

デジタルマーケティング ストック売上高比率

ITインフラ ストック売上高比率

ビジネスアプリケーション ストック売上高比率

（単位：百万円）



トピックス

デジタルマーケティング関連事業が着実に成長

Topix 1

日経ARアプリに採用

日本経済新聞社が提供するスマートフォンアプリ「日経AR」に子会社スターティアラボのAR技術が採用されました。「日経AR」アプリをスマートフォンにインストールし、新聞紙面等に印刷された指定の「マーカ―」を読み取ると、動画や3Dコンテンツが表示されます。



Topix 2

新たなARサービスをローンチ

アプリをダウンロードすることなく、WebブラウザでARを実現できる「LESSAR(レッサー)β版」や空間認識AR「WONDARFOR(ワンダーフォー)」を活用した「キャラクター×AR」サービスなど、ARサービスのラインナップを拡充いたしました。



Topix 3

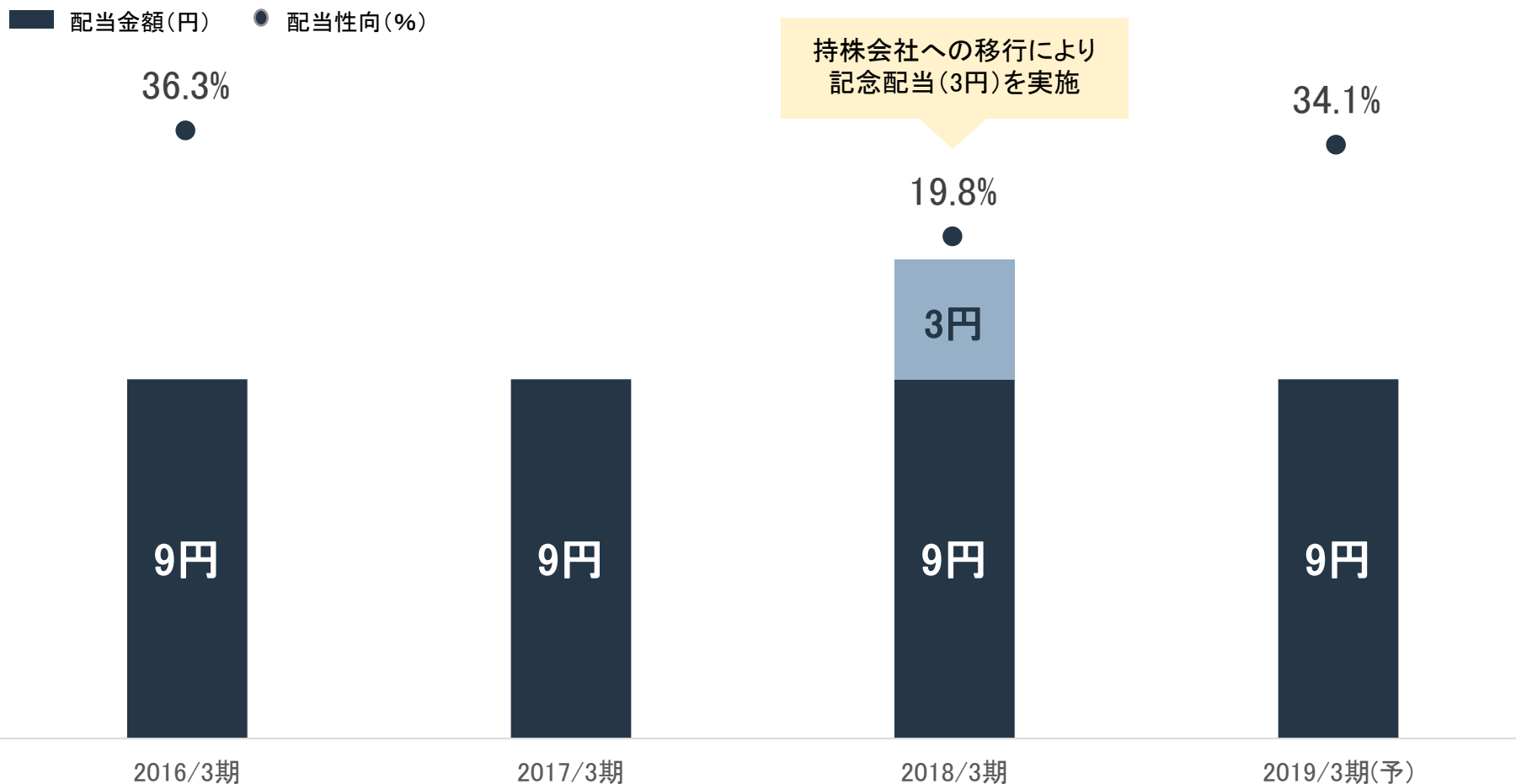
MAツールに新機能を拡充

マーケティングオートメーションツール「BowNow」に顧客へのマーケティングアプローチのシナリオをテンプレート化した新機能「ABMテンプレート」を追加しました。複雑なシナリオ設計やスコアリングの設定が必要なく、どの企業でもすぐにマーケティングオートメーションの導入および活用することが可能です。



株主還元

長期的に安定した配当を行う方針のもと、今期の配当金は一株あたり9円(うち中間配当金3円)を予定



ニュースリリース一覧

2018/10/1 【スターティアホールディングス】

プロサッカークラブ『ロアッソ熊本』と10月からサポートカンパニー契約を締結

2018/10/3 【スターティアラボ】

AR制作ソフト「COCOAR」の全機能を低価格で利用できる新プランの提供を開始

2018/10/4 【Worktus】

AI×採用 AI面接サービス「SHaiN」のタレントアンドアセスメント社と販売代理店契約を締結

2018/10/4 【スターティアラボ】

KADOKAWA電撃文庫作品などが大集合するビッグイベント「秋の電撃祭」のARスタンプラリーに「COCOAR2」採用！

2018/10/5 【スターティアラボ】

田口食品「オレンジ」のハロウィン企画「バームブラックうらない・大喜利フォトコンテスト」に「COCOAR2」採用！

2018/10/10 【スターティアラボ】

アプリダウンロードなしでAR体験が実現できる。WebAR 制作ソフト「LESSAR(レッサー)」の提供開始

2018/10/18 【スターティアラボ】

シナモンと一緒にサンリオピューロランド内で謎解き 体験型AR謎解きゲーム「シナモロール公式ファンクラブイベント～シナモンと王国の鍵～」を実施

2018/10/23 【スターティアレイズ】

スターティアレイズとAI insideがAIを活用したOCRサービスで協業

2018/10/23 【スターティア】

神戸営業所の閉鎖のお知らせ 大阪支店との統合でサービスの効率化を図る

ニュースリリース一覧

2018/11/1 【Mtame】

マーケティングオートメーションが即実践できる！顧客へのマーケティングアプローチのシナリオをテンプレート化し提供

2018/11/2 【スターティアラボ】

「好きなキャラクターとリアルで会いたい」をARで実現する「キャラクター×AR」がアトラス主催のゲームイベントで採用

2018/11/9 【スターティアレイズ】

『セキユアSAMBApro』オンプレミス版の販売開始

～QNAP社、図研ネットウエイブ社と情報漏洩対策ファイルサーバーで協業～

2018/11/9 【スターティアラボ】

東京ステーションシティ運営協議会、三菱地所株式会社、三井不動産による共同ARイベント「ARリアル謎解きゲーム in 東京エキマチ～空の展覧会～」にスターティアラボのARアプリ「COCOAR2」が採用！

2018/11/15 【スターティアラボ】

ARのトレンド・事例に関する情報を紹介するメディアサイト「ARGO」公開のご案内！

2018/11/20 【スターティアラボ】

新聞の情報がARで広がるアプリ「日経AR」にスターティアラボのAR技術が採用

2018/11/28 【スターティアレイズ】

業務におけるオンラインストレージの利用実態調査 第4弾（2018年版）

2018/12/12 【スターティアラボ】

発行部数110万部「TVガイド お正月特大号」（12月12日発売）に ARアプリ「COCOAR2」が採用！

発表文章は右記のURLより、ご参照ください。 <https://www.startiaholdings.com/news/press.html>

2019年3月期見通し

デジタルマーケティング事業および
ITインフラ事業は安定成長を継続

将来の成長に向けた新規事業への投資を実行

グループ全体の情報インフラの強化
新たな収益源の発掘

2019年3月期見通し(連結業績予想)

(単位:百万円)

	2018年3月期 実績	2019年3月期 予想 (2018年11月9日公表)	前期比
売上高	11,058	12,160	+10.0%
営業利益	358	400	+11.7%
経常利益	376	437	+16.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	613	270	△56.0%

参考資料

その他：連結貸借対照表

(単位：千円)

資産の部	2018.3	2018.12
科目		
流動資産	5,927,858	5,629,797
現金及び預金	3,718,830	3,395,000
受取手形及び売掛金	1,684,534	1,517,550
原材料	104,157	118,968
営業投資有価証券	185,603	194,282
未収還付法人税等	—	161,377
未収還付消費税等	—	117,726
その他	306,817	234,333
貸倒引当金	△72,084	△109,441
固定資産	1,819,261	1,942,887
有形固定資産	99,580	124,358
無形固定資産	398,928	424,512
ソフトウェア	285,319	345,829
のれん	112,495	77,569
その他	1,113	1,113
投資その他の資産	1,320,752	1,394,017
投資有価証券	927,861	892,784
繰延税金資産	112,323	148,025
その他	280,567	353,207
資産合計	7,747,119	7,572,685

負債の部	2018.3	2018.12
科目		
流動負債	2,388,290	2,002,420
買掛金	766,245	618,712
1年内返済予定の長期借入金	400,004	466,768
未払法人税等	247,129	51,108
賞与引当金	211,701	89,293
その他	763,211	776,538
固定負債	493,656	950,768
長期借入金	466,696	879,254
繰延税金負債	19,453	47,565
その他	7,507	23,949
負債合計	2,881,946	2,953,188
純資産の部		
株主資本	4,455,242	4,428,470
資本金	824,315	824,315
資本剰余金	926,896	935,720
利益剰余金	2,791,416	2,916,584
自己株式	△87,386	△248,149
その他の包括利益累計額	375,285	166,564
非支配株主持分	34,645	24,461
純資産合計	4,865,173	4,619,496
負債純資産合計	7,747,119	7,572,685

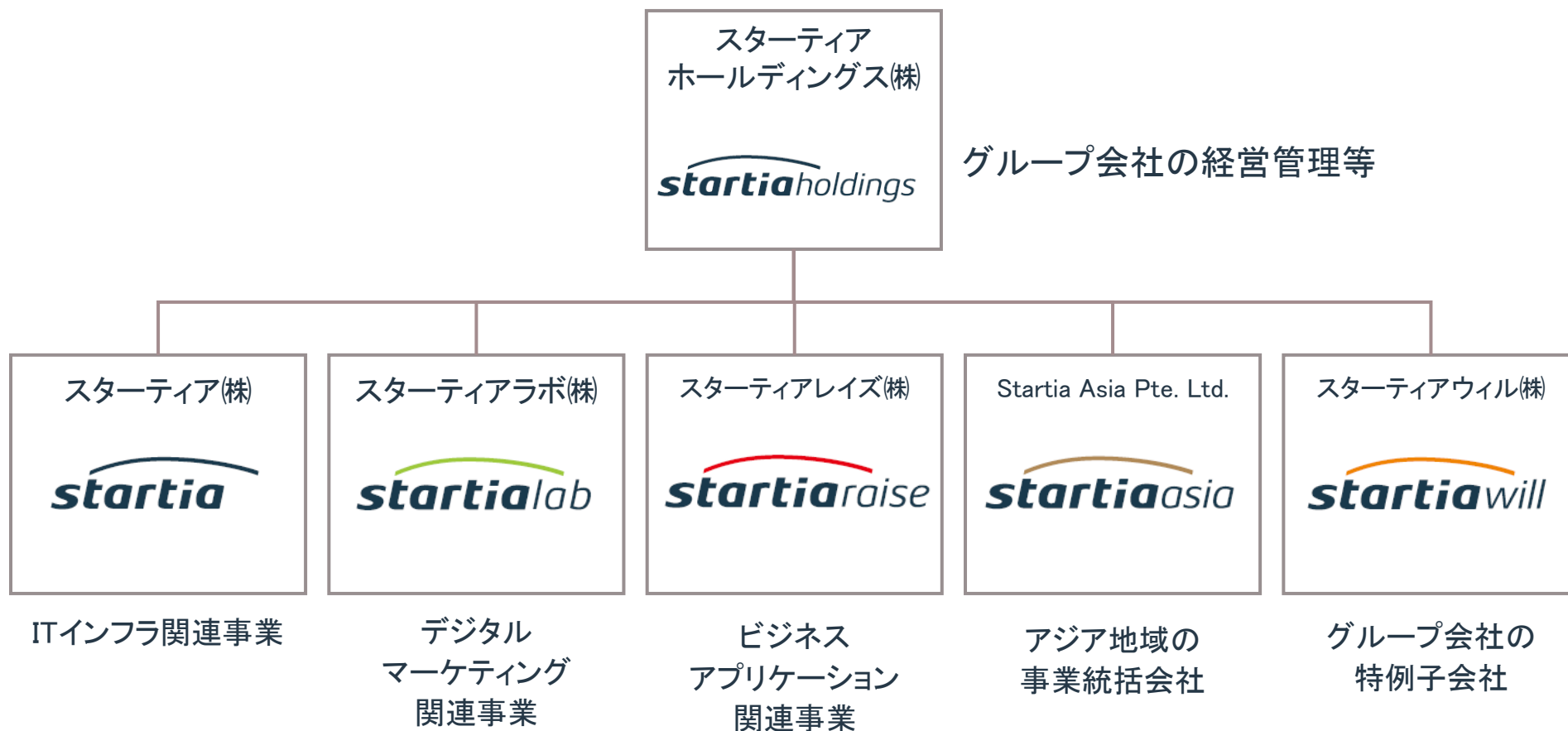
その他：連結損益計算書

(単位：千円)

項目	2017.12	2018.12	増減額	増減率
I 売上高	8,091,850	8,624,161	+532,311	+6.6%
II 売上原価	4,533,845	4,760,101	+226,256	+5.0%
売上総利益	3,558,004	3,864,059	+306,055	+8.6%
III 販売費及び一般管理費	3,277,235	3,485,735	+208,500	+6.4%
営業利益	280,769	378,324	+97,555	+34.7%
IV 営業外収益	17,090	47,640	+30,550	+178.8%
V 営業外費用	4,694	10,772	+6,078	+129.5%
経常利益	293,165	415,192	+122,027	+41.6%
VI 特別利益	404,305	23,419	▲380,886	▲94.2%
VII 特別損失	14,773	—	▲14,773	▲100.0%
税金等調整前四半期純利益	682,697	438,612	▲244,085	▲35.8%
VIII 法人税等	207,853	186,729	▲21,124	▲10.2%
四半期純利益	474,844	251,882	▲222,962	▲47.0%
IX 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△7,314	△12,841	+5,527	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	482,158	264,724	▲217,434	▲45.1%

事業紹介

主要事業会社の役割



企業の「情報システム部門」を請け負う存在に



情報システム部門の負担が高まっている中規模企業のお客様には、「ネットワークライフラインの進化」と「担当者のITスキル」のギャップを埋めるようなソリューションを提供。

ITサービスが普及し、ITデバイスの選定に課題を抱えている小規模企業のお客様には、ワンストップで迅速にサービスを提供。

リカーリングモデル推進による継続的な収益モデルの構築

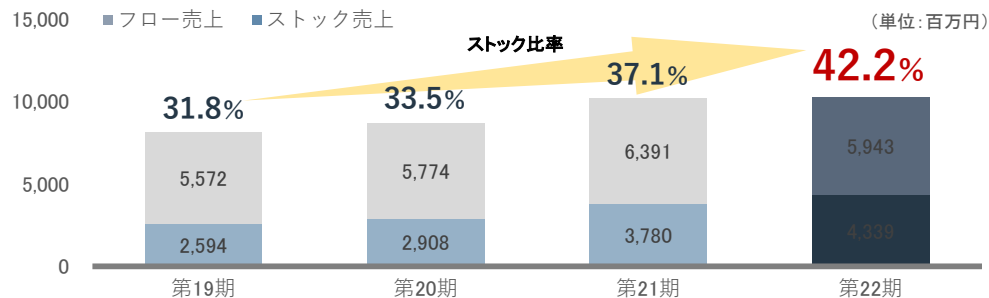
大手SI企業が参入しづらい中堅・中小企業に特化し、専任担当で差別化

スターティア(株)は、従業員数300名未満の中堅・中小企業をメインターゲットに事業展開。総務省資料によると従業員数300名未満の事業所は全国に550万社あると言われており、大手SI企業などが参入しづらい本客層を対象に、クラウドサービスやネットワーク環境構築、OA機器提供を行い業務効率向上を支援。本規模の事業者では顧客ごとに細やかな対応や課題の組み上げが必要なため、他社大手SI企業が参入しづらい。顧客ごとに専任担当者が付く「カスタマー1st」体制を実施。課題に合ったサービスをトータル提供。

ストック型サービスへの注力による安定的な収益モデル

継続的かつ安定的に収益を得られるよう、フロー商材と言われる売り切り型の商材ではなく、ストック型商材への転換を数年前より実施。現在、ストック型商材による売上比率は40%を超え、安定した収益を実現。引き続き、安定した顧客基盤から継続的に収益を構築できる「リカーリングモデル」の推進を実行。

ストック&フロー売上の推移



営業部門

売上UP



経理部門

コスト削減



経営部門

業務改善



総務部門

オフィス環境改善



情報システム部門

リスク管理徹底



主な事業内容

- システムインテグレーション (SI)
- 通信回線・プロバイダー
- 複合機
- ネットワーク構築・保守
- その他

- 日中間の高速インターネットサービス
- マイナンバー対策ソリューション
- ビジネスフォン
- クラウドファイルサーバ

ミッションは情報の利益化



電子ブック作成ソフトやCMSをはじめとしたWebアプリケーションの販売と、Webに関する受託制作・開発、アクセスアップコンサルティング等の事業を展開。

お客様の社内に眠っている情報をITサービスで最適化させ、“会社の利益を上げる支援を行い「情報の利益化」を提供”。

企業が持つ情報をITサービスで最適化、利益を上げる支援を実施

多くの企業に自社の強みに気づいてもらい、その力を100%発揮してもらうために

「情報の利益化」をミッションに掲げる連結子会社スターティアラボ(株)が担う事業。

インターネットの普及に伴い流通する情報量が加速度的に増加しているが、求められる情報を発信するのは簡単ではない。そうした中、「人」と「ログ」に着目し、情報の消費過程で蓄積されるログデータ（行動履歴）を読み取り、それをヒントに人の頭で思考し、価値ある情報を精査。Webアプリケーションなど最適形で発信し、コンサルティングの力で成果へと導く活動を推進。

各商材のフリープランを提供し、顧客のマーケティング活動を複合的に支援

デジタルマーケティング関連事業では、スターティアラボが提供するAR作成ソフト「COCOAR」やマーケティングオートメーションツール「BowNow」といったソフトウェアを複合的に活用することで、BtoB企業の複雑な商流と検討フェーズを可視化し、オンライン施策とオフライン営業施策（展示会、営業商談など）も含めたすべての営業活動を繋ぎ、ボトルネックを解消しながら企業のマーケティング活動を支援。

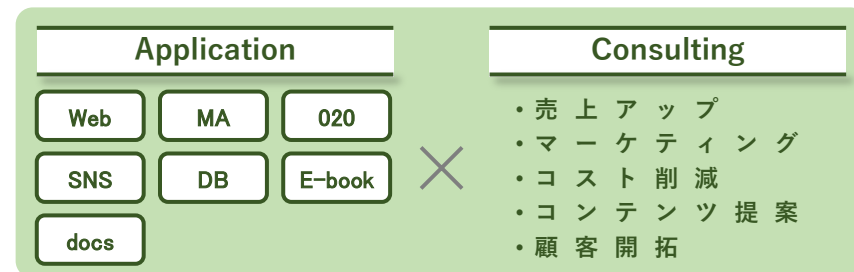
各ソフトウェアの製品群「Cloud Circus」（クラウドサーカス）導入実績は、累計4,672社以上。更なる導入促進に向け今期より各ソフトウェアのフリープランの提供を開始。

製品導入の敷居を下げることで多くの企業に各製品を導入してもらい、より高度な機能を望む企業には有料の高機能版への移行やその他のプロダクトの導入を推奨。将来の安定的利益拡大を見込む。



BtoBマーケティングをサポートする、
デジタルマーケティングプラットフォーム

<https://cloudcircus.jp/>



アプリケーションの開発

Webプロモーションによるコンサルティング

海外でのWebアプリケーション展開



主な事業内容

■マーケティング
オートメーションツール

■Web制作 & CMS

■AR作成ソフト

■アプリ作成ソフト

■その他デジタルマーケティング
ツール

■ドキュメント管理・
電子ブック作成ソフト

仕事と生活の質を高めるITサービスを提供



仕事と生活の質を高めるITサービスを通じて、「新しい多様な働き方」「労働力不足の解消」「労働生産性の向上」にチャレンジする、すべての人や企業を応援。

業務の自動化やファイルマネージメントなどのITツールが、顧客企業の円滑なコミュニケーションに貢献。

中小企業への導入支援コンサルティングを含めた 高付加価値RPA・クラウドサービスを先駆けて提供し、 市場ポジションを確立

働き方改革、テレワークなど社会の変化とともに急速に需要が増加

スターティアレイズ(株)による事業。

中小企業における人材不足の深刻化に伴い、ITスタッフがいないためIT化による業務効率UPが困難という企業は多い。そのような中、スターティア独自のRPA導入コンサル付加価値サービスを追加し、中小企業におけるRPA導入を促進。引続き市場拡大するクラウドストレージ案件拡大を図る。

働く人を笑顔にする3つのビジネスアプリケーションサービス

仕事と生活の質を高めるITサービスを展開。オンラインストレージ（ファイルサーバー）の「セキュアSAMBA」は、簡単な操作で安心な高いセキュリティを確保した法人ユースに特化されたサービス。マイナンバーに関する不明点を一気に解決する「セキュアMyNUMBER」は1社専用の用意されたWebフォームから従業員自身がPC・スマートフォンから登録・提出できるサービスで、安心して確実にマイナンバーを収集することが可能。そして、データ入力・集計など手間や時間がかかる業務を自動化できるツール「Robo-Pat(ロボパット)」は、業務の品質向上・スピードアップ・コスト削減を実現。これらサービスは仕事と生活の質を高め、ビジネスにおいても円滑なコミュニケーションに貢献することが期待できる。

コミュニケーション



業務を円滑にするためのツールを提供

業務の自動化



生産性を向上させるツールを提供

テレワーク



仕事と生活の質を高める。新しい多様な働き方を提供

ファイルマネージメント



安全に利用できるファイルマネージメントを実施

セキュリティ



高いセキュリティ サービスを提供

ITサービスで
働く人を笑顔にする



主な事業内容

■ RPA
(パソコン業務の自動化)

■ CDM(文書中央管理)

■ オンラインストレージ

■ インテリジェントバックアップ

■ マイナンバー収集・
保管サービス

アジアNo.1に向け着実に海外事業を創出・育成



シンガポールを拠点とし、海外事業各会社に対し、計数管理等の間接業務、資金・人材：投資計画の策定などのサポート業務を提供。

コーポレートベンチャーキャピタル（CVC）事業として、主に東南アジアを中心とした海外投資案件の発掘、実行、管理も実行。

Startia Asia Pte. Ltd.の コーポレートベンチャーキャピタル事業

主に東南アジアにおいて、キャピタルゲイン獲得を目的としたスタートアップ企業への投資事業を展開。斬新なアイデアや革新的なテクノロジーにより新しいビジネスの創造に挑むIT系企業に出資。投資後に出資先の経営を積極的に支援することで、出資先の企業価値向上に貢献。投下資金を最大化して回収するビジネスモデル。

海外における投資先の経営支援として、日本市場、特に中小企業を中心とした法人市場への橋渡しも当グループに求められる重要な役割のひとつ。東南アジアは急成長している魅力的な経済圏である一方、言語、民族、文化、慣習などは国ごとに異なり、製品やサービスの多国展開は容易でない。東南アジアのスタートアップ企業から見れば、巨大でありながらもほぼ単一言語で比較的均質な文化を持つ日本はいまだ魅力的な市場。

投資という事業を通して海外企業と日本市場、スターティアグループをつなげる役割を果たすことを目指す。



startiasia

海外事業

日中間高速インターネットVPNが事業の柱

startialab

デジタルマーケティング事業

海外でのWebアプリケーション展開

startiaholdings

コーポレートベンチャーキャピタル事業

投資でビジネスを拡大

■ 上海スターティア

中国在住の日系企業向けに日中間のインターネットを高速・安定化させる「GlobalGateway」サービスおよび「GlobalGateway」を拡張し中国と日本、それぞれのAWS(クラウド)を連携したシームレスな利用を実現する「GlobalGateway for AWS」が事業の柱。

Global Gateway

■ 巨現(上海巨現智能科技有限公司)

ARパッケージツール「FindAR」を中国の印刷会社に提供。「FindAR」は、印刷会社を中心に日本で1,700社以上に導入されてきたスターティアラボの「COCOAR」を中国市場向けにカスタマイズしたアプリケーション。

中国の印刷業界は、2,000年以降に設立された会社が全体の75%以上を占める若い業界であり、新しいサービスやテクノロジーの採用に積極的。

紙印刷だけを取り扱う旧態然としたビジネスモデルから総合デジタルマーケティング支援企業へと、印刷会社の成長を支援。

■ 西安スターティアソフト

技術力を用いてスターティアグループの製品・サービスの進化に貢献。具体的には電子ブックビューワー、ARパッケージなど、スターティアグループ内の様々な製品・サービスの創造、改善に注力。

コーディングから品質保証のための動作検証、サービスリリースまで、日々、目の前のソフト開発作業に集中しながら、その中で自社社員の価値観の育成及び将来の人材育成を重視し、事業を推進。



最先端を、人間らしく。

スターティアホールディングス株式会社 IR窓口

〒163-0919東京都新宿区西新宿2-3-1 新宿モノリス19階

TEL 03-5339-2109(平日9時～18時) MAIL ir@startiaholdings.com

スターティアホールディングスIR情報ホームページ <https://www.startiaholdings.com/ir.html>